

## 株式会社ナイス 精神科向け電子カルテシステム「ML-R Kirari」と 株式会社ディー・ディー・エスの認証ソリューションとの連携について

株式会社ディー・ディー・エス  
株式会社ナイス

### 1. 精神科向け電子カルテシステム「ML-R Kirari」との連携

株式会社ナイスが提供する、精神科向け電子カルテシステム「ML-R Kirari」（以下、ML-R Kirariと記述）のログイン画面と、株式会社ディー・ディー・エス（以下、DDS）の認証ソリューション「多要素認証基盤 EVEMA」（以下、EVEMAと記述（本ドキュメントはEVEMAをベースに記載しております））または「万能認証基盤 Themis」を組み合わせることで利便性またはセキュリティを高めることが可能です。

- ① SSOによるML-R Kirariへのログインを行うことで、利用者への負担軽減が可能です。
- ② 生体認証によるML-R Kirariへのログインも設定ができ、なりすましや不正ログインを防ぐことでログイン認証におけるセキュリティの強化を実現します。

適用に際しては、新たなAPIの組み込み開発やML-R Kirariへの変更を行う必要は無く、EVEMAに付属するEVEMA ID マネージャー（代行入力方式のシングルサインオンを実現するソフトウェア）にML-R Kirariの認証画面を登録することで簡単に利用することが可能です。これまで手入力していたユーザーIDとパスワードをID マネージャーが代行入力するため、確実な本人確認を行いML-R Kirariへログインができるようになります。

#### 【ML-R Kirari について】

ML-R Kirari（キラリ）は、精神保健福祉法に基づき設計されたアルゴリズムにより、精神科医療特有のシステム要件をクリアする電子カルテシステムです。

長年に渡る精神科向けの取り組みにより培われた多彩な入力支援機能や情報共有機能は、複雑な医療情報の管理を効率化し、チーム医療を強力に推進します。

ML-R Kirariは、機能性、柔軟性、独自性の追求し、精神科医療の現場で求められる電子カルテシステムとして成長し続けます。

#### 【連携製品 URL】

精神科向け電子カルテシステム ML-R Kirari

<https://www.naicorp.co.jp/medical-system/ml-r-kirari/>

## 2. ログイン認証 (EVEMA 連携前・後)

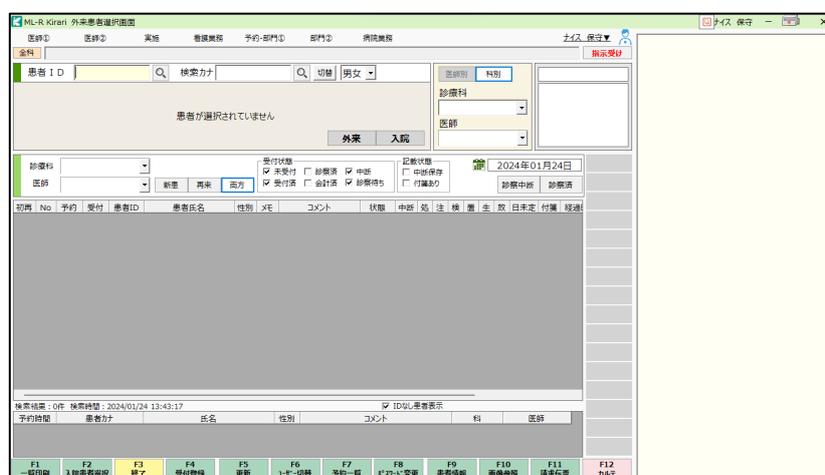
### (ア) 認証の流れ (EVEMA連携前)

ML-R KirariユーザーIDとパスワードによる入力を行うことで利用することができます。

- (i) ML-R Kirariを起動します。  
表示された認証画面でユーザーIDとパスワードを入力し、最後にログインボタンをクリックします。



- (ii) 入力された情報が正しければ、アプリケーションにログインします。



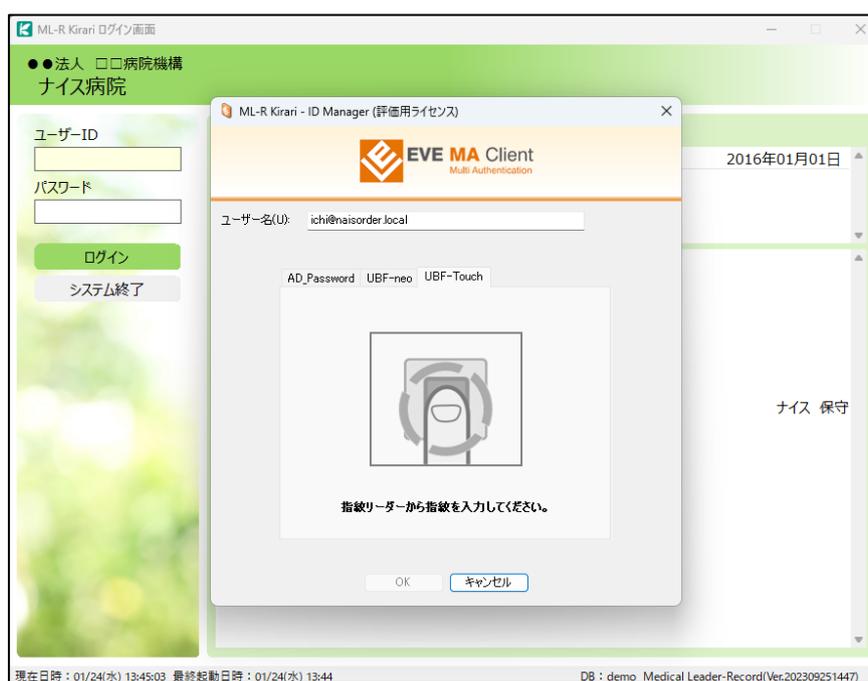
(イ) 認証の流れ (EVEMA連携後 生体認証+パスワードの二要素認証)

EVEMAとの連携後は、生体認証とパスワードの二要素認証を行い、EVEMA IDマネージャーがパスワードを代行入力します。

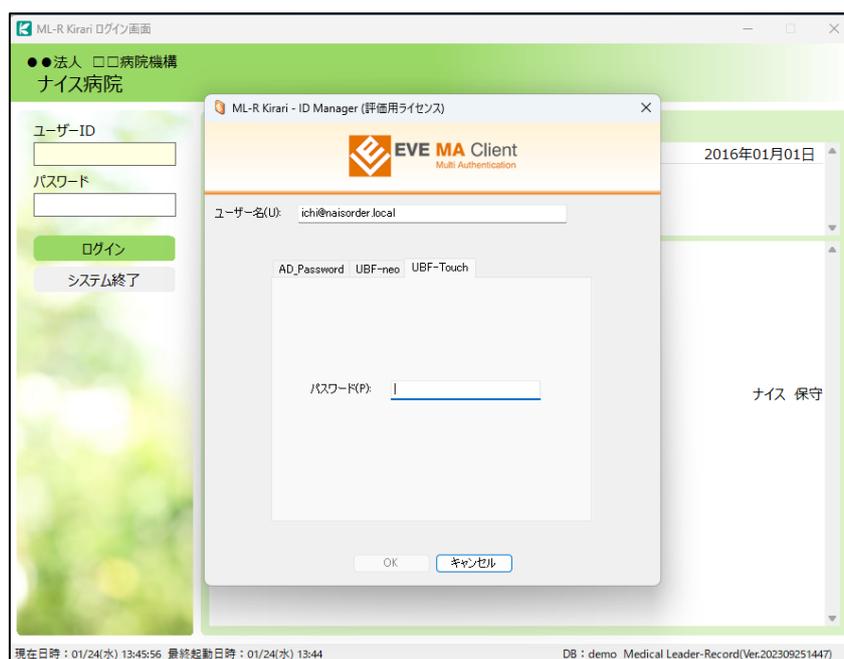
(i) ML-R Kirariを起動します。



(i) EVEMAの認証画面が表示されます。指紋リーダーにログインするユーザーの指をタッチします。(1要素目)



(ii) パスワードを入力します。(2要素目)



(iii) 本人認証成功後、EVEMA IDマネージャーが、ID・パスワードをログイン画面に代行入力し、その結果として、アプリケーションにログインします。



### 3. 登録 (EVEMA ID マネージャーへの登録)

#### (ア) ML-R Kirariの起動

ML-R Kirariにアクセスします。



#### (イ) EVEMA ID マネージャー (アプリケーション) の登録

- ① EVEMA 管理ツールにログインして認証情報のアプリケーションをクリックします。
- ② Windows上で動作する業務アプリケーションの設定を行います。
  - (i) 「ID Manager application」より「ML-R Kirari」を登録します。
  - (ii) 新しく作成したアプリケーション「ML-R Kirari」にてML-R Kirariのページの連携設定を行います。
  - (iii) [アプリケーションの登録]画面で虫めがねアイコンをログイン画面にドラッグ&ドロップし、画面情報を取得します。

※ 詳細設定からコントロールの取得に拡張モードを使用するを有効にした状態で画面情報を取得します。

